

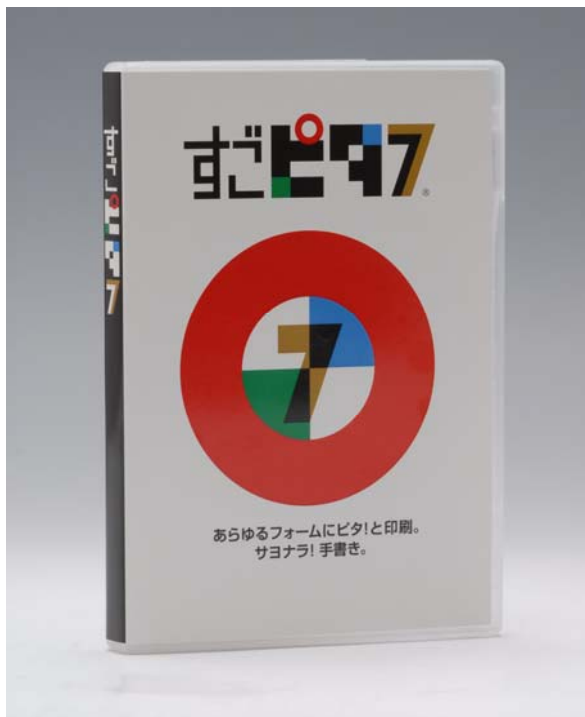


ニュースリリース

定形フォーム印刷ソフトウェアの定番商品、「すごピタ！」が新しく「すごピタ 7」として新登場します。既存のお客さまから強い要望のあった複数ページのテンプレート取込からバーコード印刷など新しい機能が満載です。

【2010年 11 月 1 日】

オブジェクティブ・ルーン株式会社(本社:京都市中京区)は、官公庁への提出書類や社内の定形フォーム印刷ソフトウェアとして定評のある「すごピタ！」の新バージョン、すごピタ 7を発売します。この「すごピタ 7」では複数ページのテンプレート取込やバーコード印刷など幅広いニーズに対応した印刷ツールとして進化を続けています。



型番: SGP-W100

標準価格: 49,800 円(税込)

発売予定日: 2010 年 11 月中旬

【すごピタ7の特長】

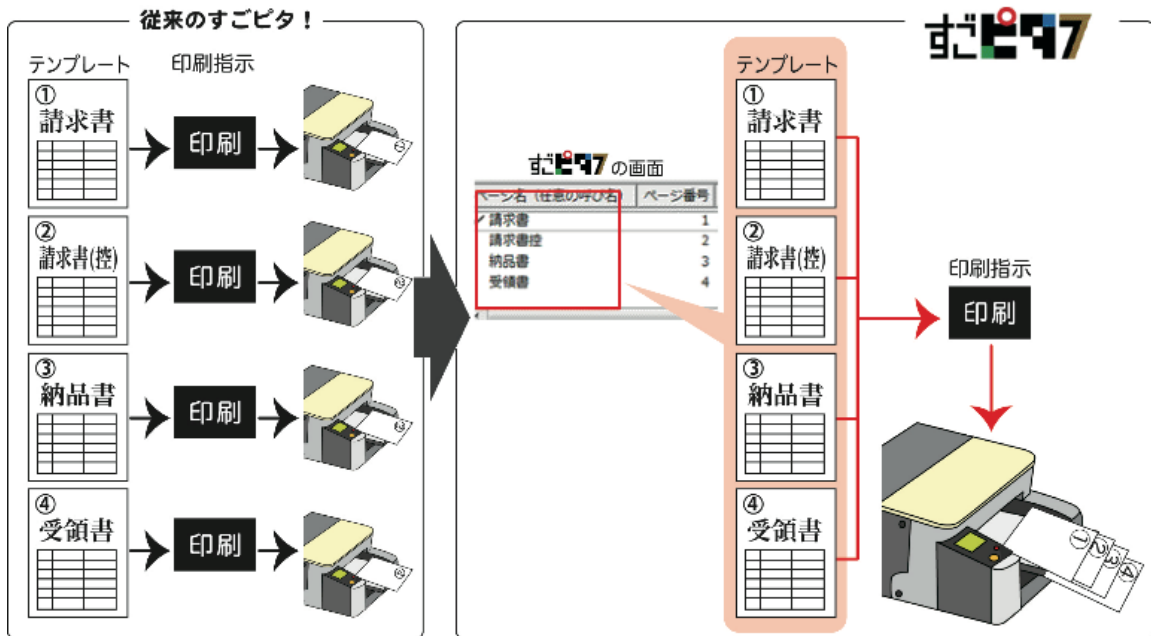
1. ひとつのファイルに複数ページのテンプレート保存ができます。

従来のすごピタ！ではひとつのファイルにはひとつのテンプレートしか保存できませんでした。すごピタ 7ではひとつのファイルに複数のテンプレートを取り込み(*1)、保存することができるようになりました(*2)。

この機能により、ひとつの表データを用いて4点のテンプレートを印刷する場合、従来のすごピタ！では4点に各々、印刷指示を行う必要がありましたが、すごピタ 7ではひとつのファイルからワンクリック操作で4点のテンプレートを一度に印刷ができます。(下図参照)

(*1)取り込みできるテンプレートの数に制限はありません。

(*2)従来のバージョンで作成した複数のテンプレートの取り込みも可能です。(文字ピタッ！で作成したテンプレートを含む)

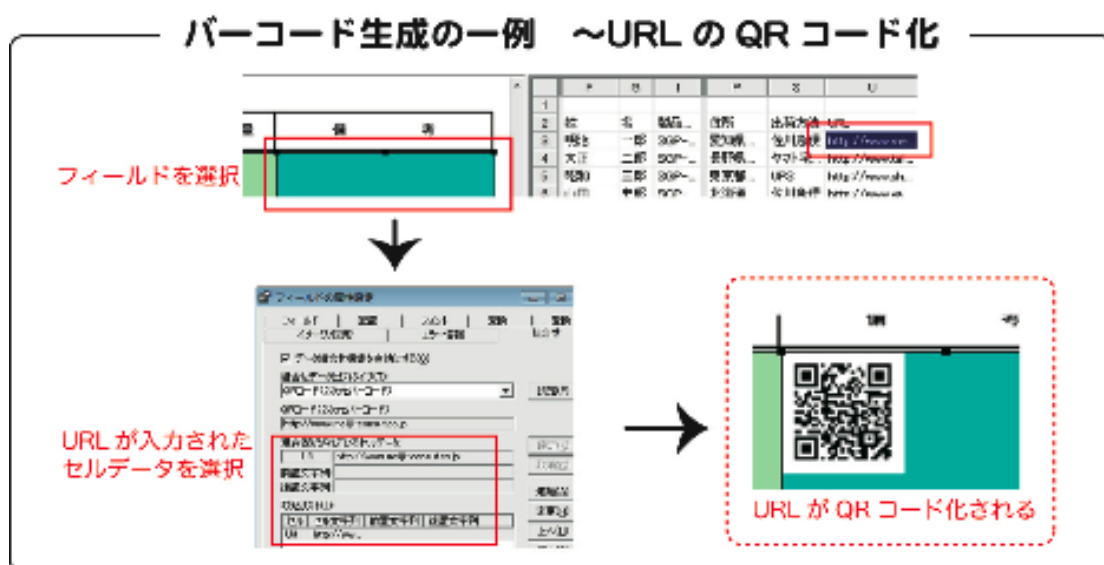
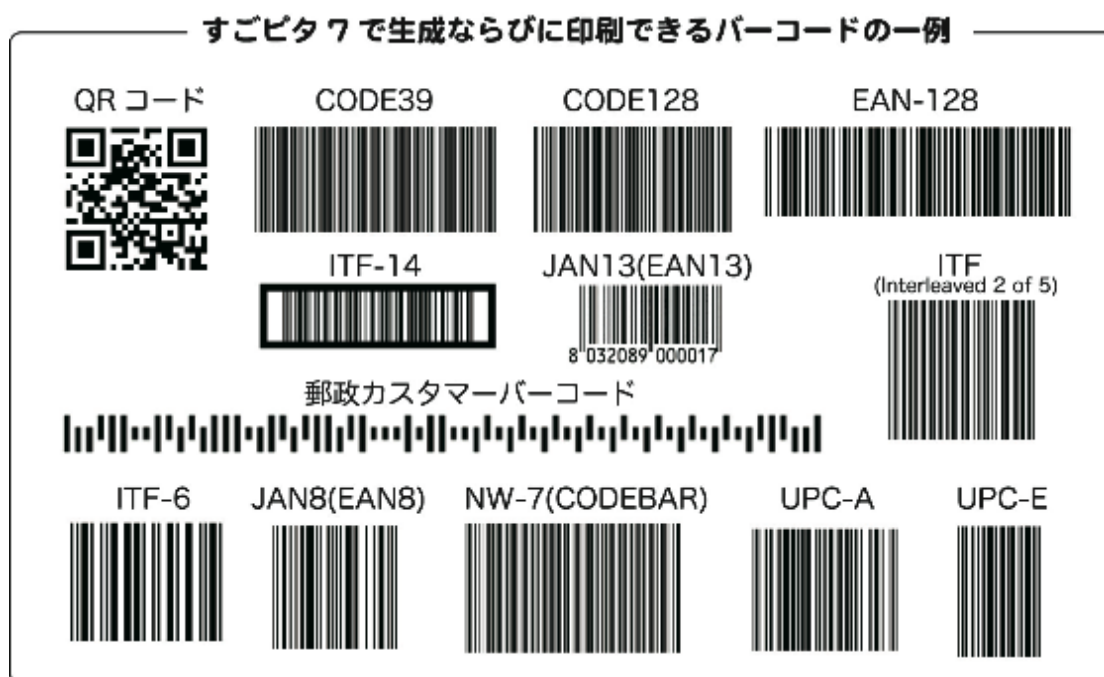


2. バーコード生成と印刷が簡単にできます。

一般的なバーコードの他、ダイレクトメール等に便利な郵政カスタマーバーコード(*1)やQRバーコードにも対応しています。

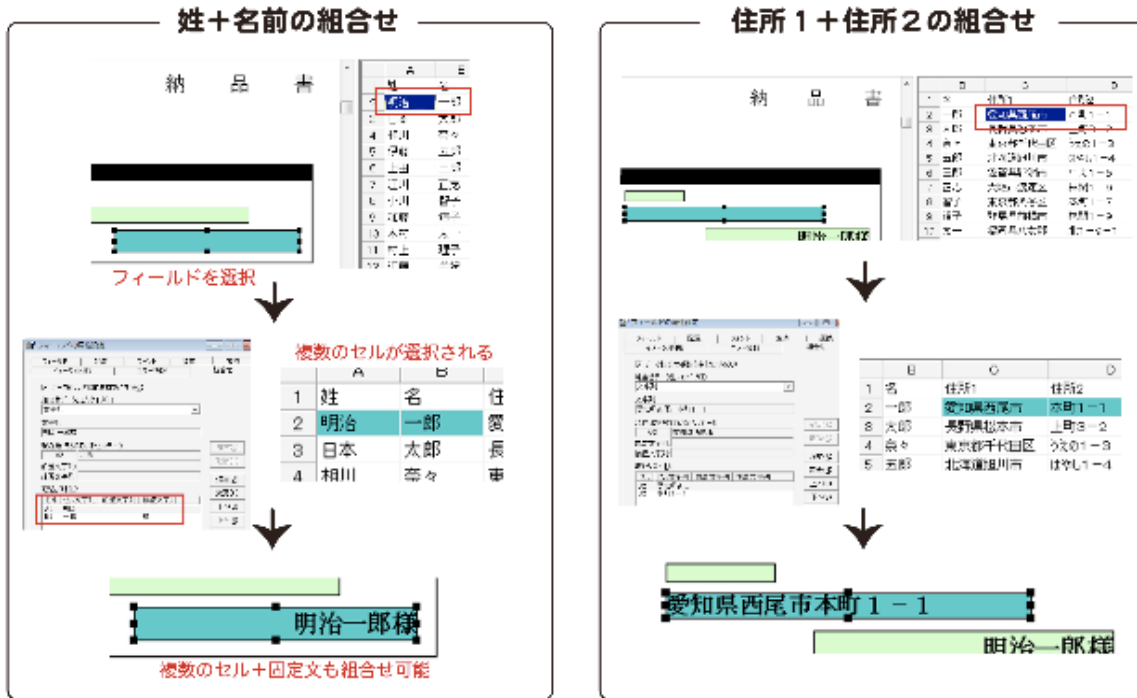
データテーブル(表)のセルデータからバーコード生成ができます。例えば、会社のURLや納品する商品情報などをQRコード化して印刷することができます。

(*1)日本郵政公社では、郵便物にカスタマーバーコードを記載すると、郵便物の料金が割引かれるサービスがあります。詳しくは、日本郵政公社のホームページを参照ください。



3. データテーブル(表)のセルを組み合わせて印刷ができます。

Excelデータの管理上、姓と名前や住所情報を住所1と住所2など、別々のセルに入力している場合、姓+名や住所1+住所2の組合せの印刷や、郵便番号と番地の組合せから郵政カスタマーバーコードを生成することができます。



4. データファイルにダイレクトにアクセスできます。

すごピタ 7では、MDAC(Microsoft Database Access Components)の採用により、ExcelやAccessのデータファイルにダイレクトにアクセスできるようになりました。これにより、以前のすごピタ！では必要であったExcelやAccessのアドインの設定作業が不要になりました。また、ExcelやAccessのソフトがパソコンになくても、それらソフトウェアで作成されたデータを印刷することも可能になりました。

